

2023 年度 日本小児耳鼻咽喉科学会 評議員会議事録

日時:2023 年 11 月 9 日(木) 8 時 00 分~8 時 30 分

場所:別府国際コンベンションセンター(B-CON PLAZA) 1F 中会議室

出席者:伊藤真人(理事長)、安達のどか、片岡祐子、肥沼悟郎、近藤康人、阪本浩一、鈴木雅明、田中 学、田中康広、中川尚志、林 達哉、原 浩貴、深美 悟、保富宗城、増田佐和子、益田 慎、丸山裕美子、宮入 烈、吉原重美(理事)、石川浩太郎、梅野博仁、岡崎鈴代、奥中美恵子、熊井良彦、齋藤康一郎、島田亜紀、竹内万彦、千田いづみ、仲野敦子、二藤隆春、任 智美、馬場信太郎、兵頭政光、藤本保志、三輪高喜、村上和子、守本倫子、安井拓也、吉川 衛(評議員)、小林一女、望月博之(監事)、飯野ゆき子、市村恵一(顧問)、有本友季子、香山智佳子、小森 学(幹事)、穂吉亮平(学術(国内)委員会委員長)、原真理子(第 18 回学会総会・学術講演会年次幹事)、小林正佳(第 19 回学会総会・学術講演会年次幹事)、土橋奈々(APOG2023 年次幹事)、川城信子(名誉会員)、早坂駿吾(事務局)

伊藤真人理事長挨拶

本評議員会は出席者と委任状で定足数を満たしていることが報告された。議事録署名人には石川浩太郎評議員と兵頭政光評議員が指名された。本評議員会開催にあたっての挨拶として評議員会出席者および守本倫子会長への謝辞が述べられた。

守本倫子会長挨拶

第 18 回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を開催するにあたっての協力・支援に対する謝意が述べられた。

I. 報告事項

1. 庶務(丸山理事)

特に報告事項なし。

2. 会計(増田理事)

特に報告事項なし。

3. 学術誌編集(安達理事)

学会誌の発行について、2022 年度は 43 巻 1 号、2 号、3 号を発行したこと、編集委員会の開催について、2022 年度は 2022 年 8 月 4 日に開催したこと、44 巻 3 号の発刊は 2024 年 3 月にずれ込むこと、2024 年の 45 巻よりオンラインジャーナル化されることにつき、それぞれ報告された。

なお、44 巻 3 号の発刊が 2024 年 3 月にずれ込む理由は、1)本年度の第 18 回学会総会・学術講演会開催が 11 月となり掲載論文数が少ないため、2)45 巻よりオンラインジャーナル化されることに伴い旧形式の投稿論文を全て掲載するため、の 2 点であることが説明された。

また、2024 年の 45 巻よりオンラインジャーナル化されることに伴い、1 号は毎年 6 月発刊、2 号は毎年 12 月発刊、総会・学術講演会抄録集は紙印刷の補巻とし、発刊は総会・学術講演会の 1 ヶ月前頃、となることも併せて説明された。

なお、2023 年度～2025 年度までの編集委員会のメンバーは以下のとおりであることも併せて報告された(診療科名が耳鼻咽喉科関連の先生方については、診療科名を省略)。

<担当理事>

安達のどか先生(埼玉県立小児医療センター)

<副担当理事>

肥沼悟郎先生(国立成育医療研究センター呼吸器科)

<編集委員長>

二藤隆春先生(国立国際医療研究センター病院)

<副編集委員長>

田中 学先生(埼玉県立小児医療センター総合診療科)

<編集委員>

小山 一先生(東京大学)

白井杏湖先生(東京医科大学)

津川二郎先生(高槻病院小児外科)

津田潤子先生(山口大学)

西田理子先生(荻窪病院小児科)

馬場信太郎先生(東京都立小児総合医療センター)

日高浩史先生(関西医科大学)

松島康二先生(東邦大学医療センター大森病院)

丸山裕美子先生(黒部市民病院)

米倉修二先生(千葉大学)

4. ホームページ広報(益田理事)

学会ホームページについて、学会誌のオンラインジャーナル化に伴い更新する予定であること、一般の方向けコンテンツの中に「偉い人に訊く:耳鼻科医と小児科医に論文を紹介」のページを新設する予定であることが、それぞれ報告された。

5. 会員教育(代:伊藤理事長)

特に報告事項なし。

6. 保険医療(鈴木理事)

安達美佳先生(東北大学耳鼻咽喉・頭頸部外科)、外池百合恵先生(千葉県こども病院耳鼻咽喉科)、島田亜紀先生(せきね耳鼻咽喉科医院(徳島県)／徳島大学)がそれぞれ委員に就任すること、委員長の選任については引き続き検討を進めていくことが、それぞれ報告された。

7. 会則改定(深美理事)

1)現在の会則第11条2.にて、「理事長, 理事, 監事の任期は3年とし, 連続の場合は2期6年までとする。」と規定されているが, これに「なお, 理事退任後の監事の任期はこの限りではない」を加えること, 2)同第19条2.にて、「理事会においては理事長が議長となり, 本会の事業の遂行に必要な事項を審議決定し, 実施する。」と規定されているが, これに「ただし, 理事長が欠席の場合には, 理事の代表が議長の職務を代行する」を加えること, 3)副理事長制度を導入すること, の3点につき, 昨日(2023年11月8日)の理事会で審議され, 承認されたことが報告された。

8. 学術(国際)(中川理事)

第18回学会総会・学術講演会と共同開催となる第9回アジア小児耳鼻咽喉科学会(APOG2023)を開催するにあたっての協力・支援に対する謝意が述べられた。

また, 日本における小児耳鼻咽喉科の活動をまとめたBulletinを樫尾明憲委員長と相談をしながら作成を進めることについて, 併せて報告された。

9. 学術(国内)(田中〔康〕理事)

特に報告事項なし。

10. ダイバーシティ推進(片岡理事)

来年(2024年)開催予定の第19回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会にてダイバーシティ推進委員会からの企画セミナーの開催を計画していること, 現在の本学会における男女比や専門分野や年代等を調査の上, ダイバーシティ推進の方向性を検討していく計画であることについて, それぞれ報告された。

11. 企画推進(小児睡眠時無呼吸症領域)(原理事)

昨年(2022年)の第17回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会会期中に「日本小児呼吸器学会との合同シンポジウム:小児OSA診療の現状と課題」を開催したが, その診療の手引きを, 2024年1月頃から, 日本口腔・咽頭科学会と協力をしながら作成を進めていく予定であることが報告された。

12. 企画推進(小児感染症領域)(宮入理事)

第18回学会総会・学術講演会会期中の2023年11月10日に, 「第1回小児科耳鼻咽喉科合同感染症セミナー—今問われる診療科連携の重要性—」を開催することが報告された。

13. 企画推進(小児アレルギー領域)(近藤理事)

昨年(2022年)10月~11月に実施した, 「小児アレルギー性鼻炎診療実態調査アンケート」の結果の一部につき, 第62回日本鼻科学会総会・学術講演会(2023年9月28日~30日開催)でのシンポジウムにて公表されたこと, 第18回学会総会・学術講演会でも一般演題にて公表することが, それぞれ報告された。

また、「小児アレルギー性鼻炎診療の手引き」について、2024年春の発刊を目指し、日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会主導で日本鼻科学会と本学会と共同で作成を進めていることが報告された。

14. 専門医制度 WG(田中[康]理事)

当初、本学会において小児難聴の相談医の制度設定を検討していたが、日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会主導で、日本耳科学会や日本聴覚医学会と連携して進めることになり、そのキックオフミーティングが第33回日本耳科学会総会・学術講演会(2023年11月1日～4日開催)会期中に開催されたことが報告された。

15. ペガサス基金選考(代:伊藤理事長)

学術(国際)委員会および学術(国内)委員会より委員を選出したことが報告された。

16. その他

16-1. メール審議報告・情報配信報告(伊藤理事長)

前回理事会(2023年7月4日 Zoomにて開催)以降のメール審議の内容および情報配信の内容が報告された。

16-2. 第19回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会準備状況報告(竹内次期会長)

第19回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会における、現在の準備状況が報告された。

16-3. 第20回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会準備状況報告(原次々期会長)

第20回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会における、現在の準備状況が報告された。その中で、会期は2025年6月19日～20日、会場は倉敷市民会館(岡山県倉敷市)を予定していることが併せて報告された。

II. 審議事項

1. 評議員の任期満了時の継続意思の確認および評議員の評議員会への参加について(丸山理事)

会則第14条4.にて「評議員の任期は3年とする。ただし、再任を妨げない」と規定されているが、評議員会へ出席されていない評議員がおられることから、任期満了が近づいた際に継続の意思について確認を行うこと、および、評議員の責務として任期の3年間のうち少なくとも1回の評議員会への出席を求めることについて審議された。

本件につき、伊藤真人理事長より、ご意見があれば学会終了後2～3週間以内に事務局までお問い合わせいただくよう案内され、引き続き、検討を継続していくこととなった。

2. 新評議員・新幹事・次期年次幹事の推薦の件(丸山理事)

小森 学先生(聖マリアンナ医科大学耳鼻咽喉・頭頸部外科)、澤田正一先生(さわだ耳鼻咽喉科・眼科(高知県))、高野賢一先生(札幌医科大学耳鼻咽喉科)、津川二郎先生(高槻病院小児外科)、藤野明浩先生(慶應義塾大学小児外科)、松島康二先生(東邦大学医療センター大森病院耳鼻咽喉科)、森田由香先生(富山大学耳鼻咽喉科)、米倉修二先生(千葉大学耳鼻咽喉・頭頸部外科)が、昨日(2023年11月8日)の理事会にて評議員として推薦されたことが報告され、承認された。なお、幹事の小森 学先生が評議員に推薦されたことに伴い、鈴木法臣先生(国立成育医療研究センター耳鼻咽喉科)が、上記理事会で幹事として推薦され、承認されたことが報告された。

また、年次幹事に小林正佳先生(三重大学耳鼻咽喉・頭頸部外科)が推薦され、承認された。

3. バナー広告規程の件(深美理事)

バナー広告規程を運用している他学会の規程を参考に、本学会のバナー広告規程案を作成したことが報告された。

本件につき、伊藤真人理事長より、ご意見があれば学会終了後 2~3 週間以内に事務局までお問い合わせいただくよう案内され、引き続き、検討を継続していくこととなった。

4. 第 21 回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会会長推薦(伊藤理事長)

第 21 回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会会長に獨協医科大学埼玉医療センター耳鼻咽喉・頭頸部外科の田中康広主任教授が推薦され、承認された。

以上

理事長:伊藤真人

庶務担当:丸山裕美子

庶務アドバイザー:仲野敦子

守本倫子

幹事:有本友季子

小森 学

(文責)香山智佳子